

7月1日

マンモグラフィ検診施設認定A判定で更新

日本乳がん検診精度管理中央機構施設画像評価委員会が審査するマンモグラフィ検診施設認定で、最高ランクのA認定を受けました。

今回は2度目の更新で、過去の審査を含め全てA認定を受けています。

この認定は、マンモグラフィ検診精度管理の線量・画質基準を満たすというもので、審査が年々厳しくなっています。

今後も、技術のレベルアップに努め、診断に有用な画像を提供していきます。



担当技師は全員検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師、放射線科 山森科長(後列中央)は検診マンモグラフィ読影認定医師です。

6月7日・7月19日

やわたハートフルコンサートを開催

やわたハートフルコンサートは、定期的に行っているロビーコンサートです。

6月は打越町・天野ピアノ教室「奏の会」生徒の皆様が、7月は職員の音楽サークル「やわたミュージッククラブ」が、1階ロビー・こもれび広場で素敵な音色を響かせました。

今回は、12月20日(土)14時から、コンサートを行います。



琴の音色がとて涼やか。(7月)

7月19日

キッズメディカルチャレンジを開催

職員家族向けに、キッズメディカルチャレンジを開催しました。対象は小学4~6年生で、お父さんやお母さんが病院でどんな仕事をしているのか、体験と見学を行いました。

聴診器で心音を聞いたり、薬の分包機でお菓子を分包したりなど、楽しみながら医療の仕事を学びました。



お菓子を分包機に入れ、お薬のように袋づめにしました。

7月~

小腸・大腸カプセル内視鏡検査増えています

カプセル内視鏡検査がスタートし、今までの内視鏡など観察が難しかった小腸の検査が可能となりました。また、新たに大腸カプセル内視鏡も導入しました。このほか、大腸の検査が初めての方向けに苦痛が少ない3D-CT検査もあります。

詳しい内容は次号で紹介します



(実物大)
PillCam[®]SBカプセルは、嚥下可能なサイズ(外径:11mm、長さ:26mm)のカプセル型内視鏡です。

基本理念

あなたの健康が私たちの願いです。

~ Your Wellness is our dearest wish ~

世界中の人々が、お互い健康で、幸せをわかちあえるために私たちは日夜努力をつけます。あなたの心と身体と環境を満足のゆく状態にするお手伝いをどうか私たちにさせてください。

※Wellness: ウェルネスとは身も心も、家庭や地域、環境もイキイキ、はつらつとしていること。また、そうあるよう日々こころがけ、行動すること。意気軒昂、前向きに、主体的に生きる、がキーワード。

基本姿勢

人を信じ、人を大切にします。

相手を信じ、自分を信じ、お互いに信頼しあう姿勢を基に、その個性や人格を大切に、自らの最大限の力量を持ってサービスに当たることが、私たちの基本姿勢です。そのために、自らの健康・教養・品位・技術を高める努力を惜しみません。



ウェルタイムズ Well Times

November 2014

特定医療法人社団 勝木会
2014年11月発行

●やわたメディカルセンター/芦城クリニック/訪問看護ステーションリハケアやわた/訪問看護ステーションリハケア芦城/やわたデンタルクリニック●
発行元・問い合わせ 特定医療法人社団 勝木会 広報部 〒923-8551 石川県小松市八幡イ12-7 TEL0761-47-1827

不整脈の新治療法

カテーテルアブレーションがスタート!

カテーテルアブレーションって何?



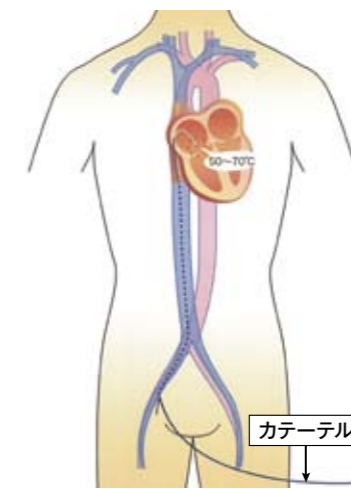
頻脈性不整脈にはいくつもの種類があり、発生の仕方それぞれで異なりますが、多くの場合でカテーテルアブレーションが応用可能です。動悸や息切れなどの自覚症状がある方は、不整脈の可能性を考えて検査をさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

担当医:循環器内科
居軒 功
(いのき・いさお)

頻脈性不整脈とカテーテルアブレーション

心臓は、電気が流れると拍動し、血液を身体中に送る電動ポンプのような臓器です。電気の流れは通常、一定の道筋を流れ、拍動の回数は毎分50~100回です。しかし、決まった道筋以外に電気が流れたり、本来は発生しない場所から電気が過剰に生じて心臓に流れたりして、脈拍数が毎分100回以上になった状態を**頻脈性不整脈**と言います。

頻脈性不整脈には様々な種類があり、動悸や、意識消失などの症状を伴います。当院では、今年5月からカテーテルアブレーションというこの不整脈への治療を始めました。



心臓のお灸療法

頻脈性の不整脈の治療には、薬物治療と非薬物治療がありますが、カテーテルアブレーションは非薬物治療法の代表的かつ最先端な治療法で、頻脈性の不整脈を根治する治療法です。この治療は、血管から心臓の中にカテーテルを入れ、その先端から高周波を流すことによって心筋の一部に軽いやけどをおわせ、不整脈の源を取り除く、いわば心臓のお灸療法です。

心臓に熱を加える治療のため、合併症には細心の注意を払って、安全に治療を行っています。

電気生理検査とアブレーション治療に要する時間は平均約2~4時間ほどです。複雑な不整脈の場合には長時間を要することもあります。入院期間は4日程度で、退院後は循環器内科外来で継続的にフォローアップしていきます。

CONTENTS

- カテーテルアブレーション
- 心臓カテーテル5000件を突破
- トピックス

心臓カテーテル5000件を突破!

平成13年、やわたメディカルセンター開院と共に開始した心臓カテーテル検査が、このほど5000件を突破しました。当院のカテーテル検査、治療の特徴についてご説明します。

虚血性心疾患と心臓カテーテル検査

心臓は、1日に10万回拍動を繰り返しており、多くの酸素を消費しています。酸素は心臓に栄養を送る冠動脈によって心臓全体に供給されていますが、その冠動脈に血管障害が起こると、心臓の筋肉は正常に機能しなくなります。この心臓の筋肉の酸欠状態のために生じる病気を虚血性心疾患といい、代表的なものには**狭心症**と**心筋梗塞**があります。この病気の診断に重要な検査が**心臓カテーテル検査**です。

心臓カテーテル検査

足の付け根や手首の血管に、直径2mmの特殊な細い管（カテーテル）を挿入して、心臓内の圧力やポンプの強さ、血液の酸素濃度を測定・分析したり、X線造影剤を注入して**冠動脈の狭窄の状態**などを調べます（**冠動脈造影**）。正確な診断と病気の状態をより詳しく把握することにより、今後の治療方針（外来通院、薬物治療、外科的治療など）を立てることができます。また、このカテーテルを通してさまざまな治療も行われています。

心臓カテーテルの治療

カテーテルを用いた冠動脈血管形成術は、カテーテルで病変部に治療器具を進め、血管を広げたり形成したりする治療で、**バルーン**と**ステント**による治療が中心となっています。

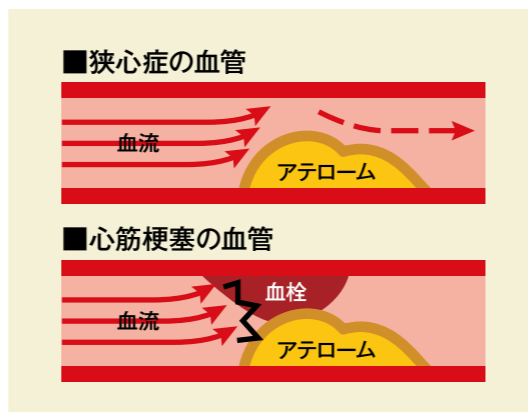
バルーン

先端にバルーン（風船）のついたカテーテルを冠動脈内に進め、病変部でバルーンを膨らませて血管を広げます。

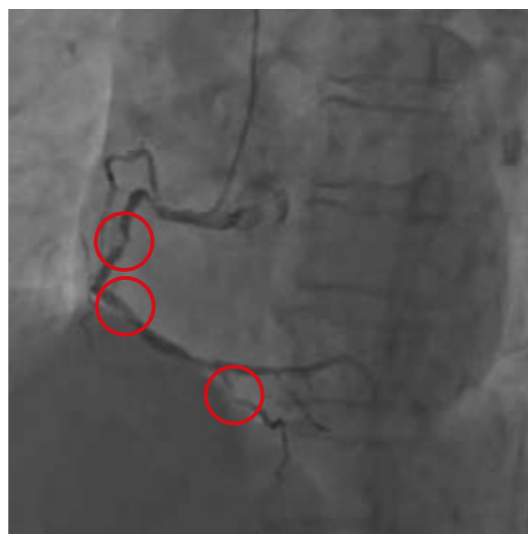
ステント

ステントとは冠動脈内に留置して、血管を内側から支えたり、広げたりする金属製の管です。ステントはバルーンで覆われた状態で病変部までカテーテルで運ばれ、病変部でバルーンを膨らませてステントを広げ、血管内に留置されます。

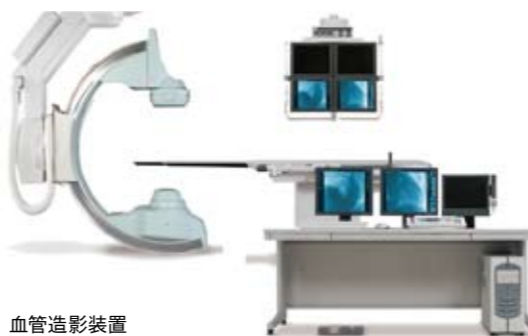
このほか、バルーンなどで広げることが難しい固い動脈硬化病変を、高速回転するドリルで削り取るローターブレードや、カテーテルの先端に付いたカッターで病変を削り取り、狭窄部分を拡張する方法もあります。



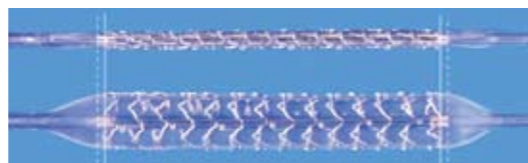
※アテローム：血液中の脂肪、コレステロールなどの沈着物。



血管が狭窄している様子。



血管造影装置



ステント：針金で血管を広げます。

ポリシーは4S 患者様の立場に立った治療へ

検査や治療の手技として、**単純 (Simple)**、**安全 (Safety)**、**迅速 (Speedy)**、そして**良い成績 (Successful)** を心がけています。通常の冠動脈造影（冠動脈を造影して血管の状態を調べる検査）では入室から退室まで約20分、冠動脈インターベンション（狭くなった冠動脈を広げるために行う治療法：PCI）は、約30～40分で終了します。無理にカテーテル治療ばかりに拘らず、重症度や合併症を鑑みて県内の心臓血管外科施設と密に連携し、より患者様にあった治療を受けていただくようお勧めしています。

苦痛の軽減と安静時間の短縮

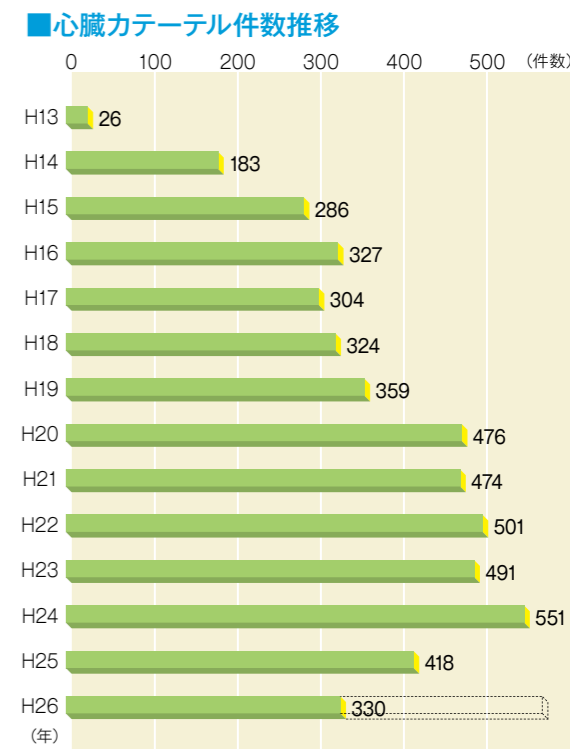
患者様の苦痛軽減には開始当初から積極的に努め、順次改善策を講じています。大腿部からカテーテルを挿入し、心臓カテーテルを行う下肢血管インターベンションでも3～4時間で歩行を開始し、従来の翌朝歩行開始から大幅に短縮しています。心疾患には基本的には**橈骨アプローチ**（手首からのカテーテル挿入）を多用し、終了直後から歩行可能です。橈骨アプローチの止血方法を2年前に変更してからは、以前の方法より疼痛が少ないと好評です。

■参考

●**PCI (Percutaneous Coronary Intervention)**
冠動脈の狭窄部位を拡張する治療法。大腿部や腕の血管から冠動脈までバルーンカテーテルを通し、詰まった部分を押し広げる。再狭窄を防ぐためにステントと呼ばれる網状の金属の管を留置する治療法や、血栓を削り取る治療法なども行われる。経皮的冠動脈インターベンション。

●**PTCA (Percutaneous Transluminal Coronary Angioplasty)**
冠動脈（心臓に酸素や栄養分を送る血管）の狭くなった箇所を風船（バルーン）で広げる手術。局所麻酔で、足の付け根の太い動脈から、風船のついたカテーテルを心臓まで入れて行う。別名、風船療法ともいう。

●**頻脈性不整脈**
心拍数が早くなる不整脈。1分間に100回以上になるものをいう。運動後などに見られる洞性頻脈のほか、心房で起こるものと心室で起こるものがあり、心拍数などによって期外収縮・頻拍・粗動・細動に分かれる。心室細動が起きた場合は、できるだけ早くAED（自動体外式除細動器）などで心臓に電気ショックを与える必要がある。心室細動や心室頻拍など致死性の不整脈を起こす可能性がある場合は、ICD（植え込み型除細動器）による治療などが行われる。



※H26年は8月までの集計



早期に安静解除し、心臓リハビリテーションを行い早期回復、再発防止に努めます。

平成26年度から新たに、**不整脈に対するカテーテル治療（カテーテルアブレーション）**を導入し、患者様のニーズにあった治療の提供を行っています。

琴野巧裕 院長 勝木達夫 副院長 居軒 功 科長



私たちが、循環器内科 担当医師です。